

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1兆3,904億円の収入となりました。前年同期比では、1,211億円（9.5%）増加しておりますが、これは、営業利益が増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、8,765億円の支出となりました。前年同期比では、429億円（4.7%）支出が減少しておりますが、これは、出資による支出が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、5,624億円の支出となりました。前年同期比では、3,714億円（194.4%）支出が増加しておりますが、これは、自己株式の取得が増加したことや子会社による自己株式の取得が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末におけるNTTグループの現預金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して738億円（6.8%）減少し、1兆145億円となりました。

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	平成29年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	増減	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	12,694	13,904	1,211	9.5%
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,195	△8,765	429	4.7%
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,910	△5,624	△3,714	△194.4%

（3）連結業績予想に関する定性的情報

NTTグループは、平成27年5月に中期経営戦略「新たなステージをめざして2.0」を策定・公表し、「バリューパートナー」としての自己変革を加速し、グループ全体を利益成長軌道へ乗せていくとともに、B2B2Xモデルを更に推進し新たな取り組みを積極的に打ち出してきました。このような中、直近の状況を踏まえ、業績予想を以下のとおり見直しいたします。

営業収益につきましては、海外事業の拡大による増収はあるものの、円高による為替影響等を見込み、当初計画比400億円減の11兆4,100億円に下方修正いたします。

一方、営業利益につきましては、国内事業の上期業績をふまえ、当初計画比400億円増の1兆4,700億円に上方修正いたします。

連結業績予想の前提条件その他の関連する事項については、22ページをご参照ください。